

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	総合交通政策に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路運送法及び同法施行規則、地域公共交通会議設置要綱

【事業概要】

現状と課題	平成18年の道路運送法改正に伴い、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様・運賃・料金等に関する事項、市町村運営有償運送の必要性等については、地域公共交通会議で諮り、その承認を得て実施することとなった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が通勤・通学・通院・買い物など生活する上で必要不可欠な路線バスの維持と、公共交通不便地域の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	全市民、特に市域内において公共交通による移動手段を必要とする人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成29年3月に策定した地域公共交通プランに基づき、路線バス・コミュニティ交通の維持・確保・改善及び新たな公共交通導入に必要な取組を進め、必要に応じて、地域公共交通会議を開催する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	249 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	249 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	249 千円	425 千円	635 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域公共交通会議において、バス路線の休廃止、再編、延伸等について協議するなど、地域公共交通の維持確保に向けた取り組みを推進している。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	総合交通政策に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
地域公共交通会議開催回数	回	1	2	4
活動指標分析結果	路線バスのダイヤ改正及びコミュニティ交通の運行開始に向けた協議を行うには妥当な回数である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
議案承認件数	件	3	7	12	平成30年度	3
成果指標分析結果	適宜、地域公共交通会議に諮問し、公共交通施策の見直しが図れている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公共交通補助事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路運送法、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（国）、兵庫県県土整備部補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	高齢社会の進行に伴い、公共交通の重要性が高まっている。従来の「かこバス」「かこタクシー」「上荘くるりん号」「かこバスミニしろやま号」に加え、平成30年度から「かこバスミニ山手ルート」の運行を新たに開始する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が通勤・通学・通院・買い物など生活する上で必要不可欠な路線バスの維持と、公共交通不便地域の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	全市民、特に市域内において公共交通による移動手段を必要とする人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業者に対し、公共交通（路線バス・かこバス・かこタクシー）運行による損失の一部を補填する。

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	167,873 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	61,306 千円
	一般財源	106,567 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	167,873 千円	149,597 千円	131,494 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	交通事業者に対して、公共交通運行による損失の一部を補填することで、路線バスの維持と公共交通不便地域の解消を図っている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公共交通補助事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443
かこバス沿線住民	人	58,269	58,269	58,269

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
かこバス運行回数	回	51,210	51,312	50,168
利用啓発活動	回	0	1	1
かこバス運行経費補填額	千円	95,498	86,661	79,385
活動指標分析結果	平成28年7月から東加古川ルート増便等の利便性向上を図ったことで、運行回数が増加している。また、人件費・燃料費の高騰などにより運行経費が増加しており、補填額も増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
かこバス利用者数	人	737,971	717,449	681,276	平成37年度	680,000
かこバス利用者一人あたり補助額	円	129	121	114	平成32年度	100
成果指標分析結果	利用者数は年々増加しているが、一人あたりの補助額も運行経費の増額に伴い上がっている。今後も利用促進と効率的な運行を図っていく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	自家用有償旅客運送事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する
事業実施期間	平成27年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	道路運送法、加古川市自家用有償旅客運送事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	運行管理、運転者は地域住民で構成する「上荘公共交通協議会」が行っている。出勤や買物、医療では、自家用車の利用が交通の中心となっているが、今後も高齢化が進む傾向がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公共交通不便地域の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	上荘町住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市町村運営有償運送（上荘くるりん号）を運行する。

【コスト】

		平成30年度（決算見込）
事業費合計		1,645 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	250 千円
	一般財源	1,395 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	1,645 千円	1,260 千円	977 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 安全・安心な運行ができており、交通不便地域の解消に寄与している。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	自家用有償旅客運送事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
上荘町の住民	人	4,607	4,670	4,709

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
上荘くるりん号運行回数	回	960	968	948
活動指標分析結果	平日1日につき約4便を運行している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
上荘くるりん号利用者数	人	2,753	2,869	3,111	平成32年度	2,000
上荘くるりん号利用者一人あたり補助額	円	506	439	314	平成32年度	600
成果指標分析結果	平成26年10月6日より、マルアイ八幡店へ接続したことにより、徐々に利用者が増加し、現在は概ね横ばい状態である。					